

第4回「ハイ・サービス日本300選」受賞企業・団体発表について ～12月25日（木）11：00より表彰式を開催～

【第4回として28事例を選定】

サービス産業生産性協議会では、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み（ベストプラクティス）の表彰・公表を通じ、企業の一層の取り組みを喚起し優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上に努めるために「ハイ・サービス日本300選」を実施しています。このたび、**第4回表彰として28の企業・団体を別紙の通り決定**しました。いずれの企業・団体もチャレンジ精神を持ち、創意と工夫でイノベーションと生産性向上を実現しています。

これらの取組をご紹介します機会として、**12月25日（木）11：00**より、KKRホテル東京（千代田区・竹橋）において表彰式を開催いたします。是非とも取材にお越しく下さい。

＜プレゼンター（予定）＞

委員長 村上 輝康 野村総合研究所シニア・フェロー

委員 伊藤 元重 東京大学大学院教授 / 小林英俊 (財)日本交通公社常務理事

野原佐和子 イグシ・マーケティング研究所代表取締役社長 / 橋本和仁 東京大学大学院教授

【第4回受賞事例（抜粋）】

＜社会医療法人財団董仙会 患寿総合病院＞

・地域全体を包括する高度な医療システム構築を目指す IT 経営戦略

カンバン方式を参考に業務効率化を進めるとともに、患者さんの全関係者が閲覧できる「一患者一カルテ」の電子カルテ導入や、地域の関係 100 機関のネットワーク化、コールセンターによる窓口の一本化といった「けいじゅヘルスケアシステム」により、患者・利用者情報の共有化促進とサービスの質の向上を図り、コスト削減および患者・利用者の利便性向上に寄与している。

＜株式会社つくばウエルネスリサーチ＞

・科学的根拠に基づいた健康増進プログラムで医療費を削減

高齢者の転倒防止、中高年の生活習慣病予防には個々に合った筋肉トレーニングが効果的という科学的根拠を実証し、「e-wellness システム」を開発した。これによる個々人に合った個別の健康増進プログラムを提供し、全国 40 以上の自治体と連携、常時 5,000 名以上が参加することによって、健康増進と医療費削減効果をもたらしている。



↑自治体での運動教室の様子

添付資料

1. 「ハイ・サービス日本300選」について
2. 「ハイ・サービス日本300選」第4回受賞企業・団体
3. 「ハイ・サービス日本300選」第4回受賞企業・団体プロフィール

※サービス産業生産性協議会（代表幹事：牛尾治朗・ウシオ電機(株)代表取締役会長）は、サービス産業のイノベーションや生産性向上に向けた国民運動を展開する母体として、産業界、大学関係者、関係省庁などの幅広い参加のもと、平成19年5月10日に設立されました。

【お問合せ先】 サービス産業生産性協議会事務局（担当：下村、与野、末吉）

〒105-0004 東京都港区新橋 1-19-15 佐伯ビル 3 F（社会経済生産性本部内）

Tel03(5251)3841 Fax03(3593)8450 ホームページ www.service-js.jp mail:M.Shimomura@jpc-sed.or.jp